



鈴鹿の風

2016.5
第27号

「アンヌ・ド・ゴールのこと」
院長 小長谷 正明

近藤敦也さんが安倍首相開催の
「桜を見る会」に招待されました

第3回 筋ジストロフィー医療研究会「明日への架け橋となれ」
演題募集・会期のご案内

新規採用職員・転入職員・新任者の紹介

医学コラム
■ 当院の臨床研究最前線

トピックス
■ 辞令交付式を行いました
■ 永年勤続者表彰を行いました

平成オタクコラムプロ野球編19

平成28年度新規採用看護師



◆ 外来診察担当表 (2016年5月1日現在)

	月	火	水	木	金
神 経 内 科	小 長 谷	酒 井 木 村	久 留 南 山	小 長 谷	久 留
内 科	野 口	内 科 医 師	安 間 (循環器内科)	安 間 (循環器内科)	棚 橋 (循環器内科)
小 児 科		予 約			予 約
整 形 外 科		田 中 (装具外来)			田 中
リハビリテーション科					田 中
皮 膚 科		予 約			
歯 科	留 奥	加 藤 (午後)		寺 本 (午後)	
禁 煙 外 来	野 口			安 間	

- 外来受付は8:30~11:00、診療開始は9:00~です。
- 歯科は身体障害者の方に限ります。
- 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越しください)。
- 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約ください。
- スギ花粉症でお悩みの方を対象に舌下免疫療法を実施しています。(月曜日)
- 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。

◆ 交通案内

- JR「加佐登」駅より徒歩8分
- 東名阪「鈴鹿」I.C.より車8分
- 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- 鈴鹿市西部地域コミュニティバス 椿・平田線「26加佐登神社」下車すぐ



◆ 編集後記

暖冬に始まった今年ですが暖かい春が過ぎ、暑くなりそうな夏がそこまで来ています。
今年も希望に燃えた新人が就職し、私たち鈴鹿病院の仲間となっています。長い目で成長を見守って頂きたい、よろしくお願いします。自分も新人の時の気持ちを思い出して仕事を行う今日この頃です。

診療放射線技師 海野 学

病 院 理 念

- 私たちは、国民に奉仕する立場から、政策医療である筋ジストロフィー・重症心身障害・神経難病の分野において、患者様本位で質の高い専門医療を提供します。
- 私たちは、充実した医療と健全な経営を心掛け、常に意識改革を怠りません。

新規採用職員・転入職員紹介



さい とう
齊藤 壮

看護師

患者さんひとりひとりに合わせた援助を大切に、思いやりのある優しい看護師になるために日々精進していきます。



おお はら み ほ
大原 美穂

看護師

患者さんの思いに寄り添い、個性を大切に看護をしていきたいです。また、責任感をもってチームの一員という自覚をもち頑張っていきたいです。



うき た や よ い
浮田 弥生

看護師

患者さんに安全・安楽に過ごして頂けるように、ひとりひとりの個性を考えた援助が行えるよう、日々精進していきます。



あか き はる な
赤木 春菜

看護師

日々の観察を大切に、今、自分ができる事を考え、患者さんの個性に合った看護が行えるよう努力します。



はま だ し ほ
浜田 志穂

看護師

患者さんの個性を大切に寄り添う看護を行っていくように知識・技術を一生懸命身につけていきます。

転入



い とう ま よ
伊藤 真代

看護師

名古屋医療センターから異動してきました。全くちがう環境や疾患などわからないことも多くご迷惑をかけることもあるかもしれませんが、一日でも早く病院・病棟に慣れ楽しく働ければと思っています。

転入



みなみ よう こ
南 陽子

看護師

三重中央医療センターから異動になりました。時間がゆっくり流れ、ゆったりとした気持ちで看護を行えることが魅力的だと感じます。よりよい看護を行えるよう、日々学んでいきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

転入



まる ざわ ゆ み こ
丸澤 由美子

児童指導員

三重病院より赴任して参りました。三重県の北の方から通勤するので1時間かかりますが患者さんの笑顔が楽しみで毎日頑張っています。まだまだ至らないことが多く、皆さまにご迷惑をおかけすることと思いますが、ご指導のほど、よろしくお願い致します。



は せ がわ さ き
長谷川 沙紀

看護師

患者さんへの思いやりの気持ちと笑顔を忘れずに、患者さん一人一人の想いに寄った看護を行えるよう日々努力します。



なか しま ゆ い
中島 結衣

看護師

患者さんひとりひとりの想いに寄り添い、信頼関係を築いていけるように、日々成長していきます。



とう くら あつ こ
東倉 敦子

看護師

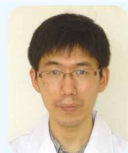
同じ看護師の方々はもちろん、他職種の方々にも信頼してもらえるようにやるべきことを一つ一つ積み重ね、連携してより良い看護を患者さんへ提供できるチームの一員になれるよう努力していきたいです。



ど い せ な
土井 世菜

看護師

患者さんの気持ちに寄り添い、安心して過ごせるように知識や技術を磨いていきたいと思います。



の じり けい
野尻 桂

薬剤師

他のスタッフの方々に薬のことで安心して頼って頂けるように頑張ります。不慣れなことばかりですが、これからのご指導よろしくお願い致します。



かわ かみ ゆ き
河上 優希

業務班経理係

業務班経理係に配属されました。至らぬ点ばかりですが、皆さまにご迷惑をおかけすること多いと思いますが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。



すぎ もと あい
杉本 愛

理学療法士

静岡でんかん・神経医療センターから異動となりました。出身は三重県ですが、鈴鹿は初めてなので新しい環境でも元気に頑張っていきたいと思います。宜しくお願いします！



ひら た なお や
平田 直也

療養介護専門員

石川県金沢市の医王病院より転動してきました。新しい土地や人との出会いでわくわくしている反面、不安もあるのが本音です。これからは少しでも患者さんおよび病棟・病院の役に立つよう精進していきたいと思います。

4月から鈴鹿病院の新しい顔になりました。よろしく

お願いします！



新任者の紹介



今年度から新たに鈴鹿病院へ配属となった職員とご挨拶を紹介いたします。



まえ だ たか し
前田 貴司

職名 事務部長

この度、石川県の石川病院から赴任しました前田です。出身は、岐阜県高山市で、愛知県、静岡県、石川県と転動してきましたが、三重県の勤務は初めてとなります。

以前、鈴鹿病院へ来たことがありますが、その頃と比べると建物、設備等新しく綺麗で職員の方も生き生きとして仕事をして見え、活気のある職場だなと感じています。これは院長先生をはじめ職員の方々、諸先輩の方々のご努力により築き上げられたものだと思います。

事務職員として病院の理念にもあるように常に意識改革を図り、充実した医療と健全な経営が実現できるよう微力ではありますが努力してまいりたいと思っています。



わた なべ たみ お
渡邊 民朗

職名 庶務班長

名古屋医療センターより赴任して参りました。風光明媚な地に建つ新しく綺麗な鈴鹿病院を目にして気持ちが新たにりました。三重県の施設には静澄病院、三重病院に三度、合計8年4月にわたりお世話になりました。第二

の故郷とも言える三重県の鈴鹿病院が一層発展していきますように微力ながら頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。



もり もと か よ こ
森本 佳代子

職名 副看護部長

東尾張病院より赴任してまいりました。出身は地元の三重県ですが、鈴鹿病院は学生の時の実習以来になります。豊かな自然と設備の整ったきれいな病院で毎日、新たな発見があります。神経難病と筋ジストロフィー、重症心

身障がい児(者)の看護の経験はほとんどありませんが、専門施設の看護師として患者様に安心していただけるよりよい看護を目指して取り組んでいきたいと思っています。

まだまだ不慣れな私ですが、よろしくお願い致します。



やま ぐち けん
山口 賢

職名 臨床検査技師長

金沢医療センターより赴任して参りました。三重県での勤務は三重病院に次いで2度目となります。

鈴鹿病院は当時の印象とは異なり建物やシステムが更新され、素晴らしい環境下での勤務に身の引きしめる思いです。臨床検査科の機器も血球分析装置や、生化学・血中薬物濃度測定装置、更に超音波診断装置なども最新機器へと充実が図られ、患者様や臨床の先生方へ迅速で正確な検査結果の報告を実践すべくソフト面でもレベルアップを目指してまいります。

臨床・看護部をはじめ事務部門や他部署との密な連携を基に努力していきたいと思いますので皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。



あお き とも み
青樹 智美

職名 看護師長(西1階病棟)

三重中央医療センター附属三重中央看護学校より着任いたしました。鈴鹿病院には看護学生の実習指導でお世話になっており、親しみを感じています。今回、配属された筋ジストロフィー

病棟は、日常生活全般での介助を必要とする患者様が多いのですが、それぞれの患者様の生活の質を大切にしながら関わらせていただいています。日々、患者様の笑顔や何気ない会話に元気をいただきながら、より良い療養環境になるよう病棟スタッフと共に励んでいきたいと思います。初めて病棟師長として勤務する上で緊張もありますが、精一杯取り組んでいきたいと思います。

今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。



に わ すず み
丹羽 鈴美

職名 看護師長(西2階病棟)

三重中央医療センターから赴任して参りました。重症心身障がい児(者)病棟の看護師長に着任いたしました。三重中央医療センターでは、手術室や混合病棟で、成人・小児科の経験はありますが、重症心身障がい児(者)の看護は初めてです。

患者様とご家族が安心で安全な療養生活が送れますようにスタッフと力を合わせ努力し、少しでも早く鈴鹿病院の看護を理解し適応していきたいと思います。

不慣れな環境の中ご迷惑をかけることも多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



当院の臨床研究最前線

「先生、筋ジスに効く特効薬はないのですか？」と時々患者さんやご家族から尋ねられます。基礎研究の発展は目覚しく、病気の原因やメカニズムもかなり解明されてきました。原因となる遺伝子がつきとめられ、いろんな治療薬が開発され、動物モデルに対して試されていくつかの薬が有望であることが判ってきました。しかし、まだ実際には臨床の現場には届いていません。なぜでしょうか？“治験”という難関を通らなければならないからです。

薬が実際に臨床の現場で使えるようになるには、本当に患者さんに効果があるのか、副作用はないのかを確かめなければなりません。これを治験と言います。現在の日本では治験を経なければ正式に薬として承認されません。すごい治療効果を謳った民間療法の類はたくさんあるようですが、決してお薦めできません。正式な方法で承認された薬でさえ、後になって重篤な副作用が判明したものも少なくありません。回り道のようにですが必要なプロセスなのです。

しかし、筋ジストロフィーのように比較的稀な疾患で、ゆっくり進行する疾患の場合には、治験を実施して承認されるまでにはいくつかの困難を伴います。まず、治験に協力してもらえ患者さんを一定の数確保することは決して容易ではありません。ただでさえ数が少ない上に、治験が求める条件を満たす症例はさらに数が少なくなってしまうからです。これに対しては、より円滑に治験を行うことを目指して国立精神・神経医療研究センターを中心としてRemudyという患者登録制度と、MDCTNという全国的な臨床試験ネットワークができました。

Remudyに関しては以前にも本誌で紹介しましたが、現在対象疾患も増えて、実際にこのシステムが利用され徐々に実績を挙げつつあります。当然当院も協力しています。

また薬の治療効果をどのように判定するのかが大きな問題となっています。筋ジストロフィーはゆっくりと進行する経過の長い病気ですが、治験の場合には、ただか数年で結果を求められます。それでは、どのような方法で薬の効果を判定すればよいのでしょうか？筋肉がどんどん萎縮して筋力が低下していく病気ですから、薬を飲んだ群（投与群）が飲まなかった群（非投与群）に比べて、筋萎縮や筋力低下の程度がより少ないことを統計学的に示せば効

果を確認できます。現在運動能力の評価には6分間歩行、定量的筋力評価などの方法が使われています。筋萎縮の評価にはCT、MRIといった骨格筋画像や生体インピーダンス法などの方法があります。どの方法が最も鋭敏で使い勝手がいいのかはまだ議論の余地があります。例えば筋MRIは非常に鋭敏な評価方法ですが、子供を対象とした場合には、検査をおこなう20～30分の安静を保つのが難しく、時に鎮静剤を使う必要があるなどの欠点もあるからです。



現在われわれ臨床研究部では骨格筋量評価法の開発と応用に力を注いでいます。ここで簡単にご紹介したいと思います。まずは骨格筋CTです。すでに日常の診療でも広く使われているのでご存知の方も多いと思います。

どの筋肉がどの程度障害されているのかを簡単に把握することができますが、治験に応用するためには筋障害の程度をより正確に測定する必要があります。筋ジス患者さんの筋組織では進行性に筋線維の数が減少し、脂肪や結合組織に置き換わってしまいます。筋線維と他の組織とではCT値が異なるので、撮影した骨格筋の画像から専用のソフトを用いてCT値のヒストグラムを作成し、筋線維に対応するCT値を持つピクセルの面積（厚みを掛けあわせれば体積）を計算して筋量を求めることができます。われわれは、この理論を用いた従来の骨格筋定量法を改良して、より正確に残存筋量を測定する手法を開発することができました。

生体インピーダンス法を使った筋量評価法も研究しています。生体に非常に微弱な電流を流して抵抗を測定することで体組成を調べようとする方法です。市販の体重計でも少し高価なものであれば体脂肪率が分かりますよね。これをもう少し洗練した形で筋ジストロフィーの臨床研究や治験に応用しようと現在模索している所です。タニタ体重研究所や横浜労災病院、東京女子医大、名古屋市大、神戸大と共同して研究を進めています。われわれが開発した方法が必ずや治験に役立つことを信じて日夜研究に励んでいます。



臨床研究部長 久留 聡

トピックス

辞令交付式を行いました



4月1日（金）に辞令交付式を行い、同日付で新規採用や転出・転入となる職員の計36名に対して、小長谷正明病院長より辞令を交付しました。今年度は新規採用者の医師・看護師等合わせて13名に辞令が交付されました。

永年勤続者表彰を行いました

長きにわたり職務に精励した職員をたたえる「永年勤続表彰式」を5月13日（金）に行い、計5名が表彰されました。

式では、小長谷正明病院長より「今後も良質な医療の提供に尽力いただきたい。」とねぎらいの言葉をいただき、受賞者らは皆充実した表情をみせました。



今年度は30年表彰として神経内科部長 酒井素子さん、臨床検査技師長 山口 賢さん、副看護部長 森本佳代子さん、20年表彰として副看護師長 岡 道代さん、主任児童指導員 村松順子さんが受賞されました。

今回は山崎武司の話です。言わずと知れた元中日ドラゴンズのスラッガーです。彼は一九八六年に愛工大名電から強打の捕手としてドラフト二位で中日へ入団しましたが、中村武志とのポジション争いに敗れて捕手をクビになるなど遅咲きの苦労人でした。当時名古屋テレビ深夜のドラゴンズ応援番組に彼を応援するコーナーがあったのですが、毎年オープン戦や開幕直後には活躍するものの、結局失速してしまう山崎を辛抱強く追いかけていたのを覚えています。その甲斐あってか、ついにレギュラーをつかみ、持ち前のパワーでホームランを量産するまでになりました。

この復活劇の陰には、一度は日本シリーズに出たいという執念があったのかも知れません。さらには低迷期に当院を慰問に訪れた際、同行していた福留ばかりに人気が集中し、「俺もいるんだけどな」と子供のように拗ねていた、その時の悔しさがきっと再起のバネになったのだと強く信じています。

平成オタクコラム プロ野球編19

臨床研究部長 久留 聡

